事前評価個表

整理番号 3

地域(地区)名	まばしりせいぶ 網走西部	事 業 名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	************************************
事業実施期間	R6年度~R10年度(5年間)	事業実施主体	道、市町村、森林組合等

事業の概要・目 的

本地区は、北海道東部のオホーツク海側に位置し、オホーツク総合振興局管内の西部を区 域とする地域で、内陸部には南北に連なる北見山地、海側を中心にサロマ湖をはじめとする 大小の湖沼群、オホーツク海に流れ込む渚滑川及び湧別川の2本の1級河川を有する。

本地区の森林資源の現況については、総面積 474 千 ha のうち、民有林と国有林を合わせ た森林面積が 380 千 ha (森林率 80%)、このうち民有林における人工林の面積は 79 千 ha (人 工林率 41%) で、カラマツが 29%、トドマツが 52%を占めている。人工林の齢級構成は8 齢級以上の林分が 71%と本格的な森林資源の利用期を迎えており、増大する利用可能な資 源の活用と適正な管理が必要となっている。

また、本地区の路網整備の状況は、地区内の林道延長が 736km、公道等を含む林内道路密 度は 10.2m/ha となっており、このほかに林道の支派線として森林作業道が整備されている。 本地区の豊富な森林資源を有効に活用していくとともに、効率的な森林整備を実施していく ためには、更なる路網整備の推進が必要となっている。

本地区は、全国でも有数の森林認証取得地帯であり、民有林における人工林の占める割合 も 41%と大きく、地区内外に大規模な製材工場が立地しており、林業・木材産業のポテンシ ャルが高い。このため、森林資源の循環利用と併せて的確な森林整備の実施を推進し、健全 な森林を育成していく必要がある。

本事業は、水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能及び木材等生産機 能の維持増進を図るため、網走西部森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林 整備及び路網整備を実施するものである。

事業内容·事業 │ 森林整備: 33,568 ha

人工造林、樹下植栽、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等

路網整備: 10,677 m 林道開設、改良

総事業費:10,028,237千円(税抜き9,116,579千円)

費用便益分析結

B/C = 3.73

(総便益(B) = 62,258,099千円 、総費用(C) = 16,707,377千円) 果

評価結果

必要性: 本地区は、利用期を迎えている林分が多く所在し、水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進を図るためには、主伐後の更新や適正な保育・間伐が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。

効率性: 効率的な森林整備を実施する上で必要となる路網整備を一体的に実施するなど、 現地状況に基づき計画的に事業を推進することとしており、費用対効果分析の結果 からも、事業の効率性が認められる。

有効性: 適正な保育・間伐等の森林整備及びそれらに必要な基盤として路網整備を一体的に実施することで、水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進が図られることが期待されるため、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業都道府県名:北海道

地域(地区)名: 網走西部 (単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
	洪水防止便益	11, 377, 725	
水源涵養便益	流域貯水便益	2, 941, 732	
	水質浄化便益	11, 383, 090	
山地保全便益	土砂流出防止便益	21, 525, 676	
環境保全便益	炭素固定便益	5, 644, 385	
	木材生産経費縮減便益	70	
木材生産等便益	木材利用増進便益	540	
	木材生産確保・増進便益	8, 479, 365	
木井乾进汉弗纳泽第 历光	造林作業経費縮減便益	2	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	864, 250	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	41, 252	
維持管理費縮減便益		12	
総 便 益 (B)		62, 258, 099	
総 費 用 (C)		16, 707, 377	
費用便益比	B÷C =	= 3.73	
复用 関無比	16, 707, 377		

